



2019年4月16日

報道関係者各位

慶應義塾大学

地下鉄等の閉鎖的空間の環境を考えるシンポジウム開催（5/18）

慶應義塾大学理工学部では、2018年より「世界一空気のきれいな地下鉄」を目指す産学連携プロジェクトを実施しています。これまでに、地下鉄構内の空気中PM_{2.5}濃度は最大で地上の約5倍に達する等の実態調査の結果を公表してきました。これらの結果は、学術雑誌で公開されたほか、TVや新聞等にも取り上げられ、多くの方の関心を集めています。

このたび、慶應義塾大学理工学部は、日本エアロゾル学会と協力して、地下鉄等の閉鎖的空間の環境を考えるシンポジウムを、5月18日（土）に慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて開催します。本シンポジウムの告知とご取材をお願い申し上げます。

1. 開催日時

日時：2019年5月18日（土） 開場 12:30 開会 13:00 閉会 16:30 懇親会 17:00～19:00

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール

（東急東横線・目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅徒歩1分）

<http://www.kcc.keio.ac.jp/access/>

定員：シンポジウム 200名、懇親会 50名

参加費：無料（ただし資料希望者には資料代1,000円、当日徴収いたします）、懇親会 3,000円

申込方法：(1)「5/18 エアロゾルシンポジウム参加希望」と明記、(2)氏名、(3)所属先名称、(4)連絡先住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス、(5)懇親会参加希望の有無、をご記入の上、下記申込先へ電子メールにて送信してください。（締切：5月10日（金））

申込先：日本エアロゾル学会事務局 <jaast@nacos.com> TEL：075-415-3661 FAX：075-415-3662

2. シンポジウム概要

本シンポジウムは、「閉鎖的空間のエアロゾル・PM_{2.5}問題を考える－身近なエアロゾル：基礎知識、地下鉄環境、曝露対策まで－」をテーマに開催いたします。環境省による日本の屋外一般環境におけるPM_{2.5}の環境基準ができてから今年で10年となり、多くの観測地点において環境基準が達成されるようになりました。その一方で、建物内や鉄道の地下ホームなどはこのPM_{2.5}の環境基準が適用されず、場所によっては高濃度のPM_{2.5}が報告されています。このシンポジウムでは、閉鎖的空間のエアロゾル問題の解説から、近年各種メディアにより報道され関心を呼んでいる地下鉄（地下ホーム）環境の問題の紹介、さらにはマスクによる曝露対策技術などに焦点を当て、それぞれ一線で活躍する研究者の方々に分かりやすく解説していただきます。また、粒子計測や浄化技術などに関連する企業の方々のご取り組みも紹介し

ます。環境問題に関心をお持ちの皆様の情報収集と有意義な議論の場となれば幸いです。

3. プログラム

12:30-13:00	参加受付
13:00-13:10	開会挨拶、日本エアロゾル学会会長挨拶、趣旨説明
13:10-13:45	基調講演：閉鎖的環境におけるエアロゾル 鍵 直樹 氏（東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 准教授）
13:45-14:15	一般講演1：地下鉄構内エアロゾルの現状と課題 奥田 知明（慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 准教授）
14:15-14:30	企業講演1：地下鉄構内エアロゾル計測の事例と使用装置 濱 尚矢 氏（東京ダイレック株式会社 経営管理本部 企画開発部）
14:30-14:45	企業講演2：PM _{2.5} 粉じんセンサーについて 小島 謙太郎 氏（柴田科学株式会社 マーケティング課）
14:45-15:00	企業講演3：IoTによる地下鉄構内エアロゾルの多数地点のリアルタイム モニタリングと除去の取り組み 藤原 基 氏（マン・ウント・フンメル・ジャパン株式会社 代表取締役社長）
15:00-15:20	休憩・展示閲覧時間
15:20-15:50	一般講演2：地下駅構内の温熱環境と列車風を考慮した空調負荷 近藤 靖史 氏（東京都市大学 工学部 建築学科 教授）
15:50-16:20	一般講演3：PM _{2.5} 曝露対策としてのマスク 明星 敏彦 氏（産業医科大学 産業生態科学研究所 教授）
16:20-16:30	まとめの挨拶、閉会
17:00-19:00	懇親会（慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館2階 日吉ファカルティラウンジ）

※プログラムは予告なく変更される場合があります。

※ご取材の際には、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部、環境記者会、厚生労働記者会、国土交通記者会等
等に送信させていただいております。

・シンポジウム内容・ご取材についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学 理工学部 応用化学科 准教授 奥田 知明(おくだ ともあき)

TEL: 045-566-1578 E-mail: okuda@applc.keio.ac.jp

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室(村上)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>